

トップバリュ グリーンアイの歩み



グリーンアイ商品の開発

化学合成農薬や、化学肥料をできるだけ使わず栽培した農産物を中心とした商品からスタート。

新生「トップバリュ」誕生に際し、トップバリュをアンブレラ・ブランドとするサブブランド「トップバリュグリーンアイ」となる。

👑国内初の有機認証を野菜、冷凍野菜で取得。

「トップバリュグリーンアイ」の生産者を募集する新聞広告掲載。

「トップバリュ グリーンアイオーガニック」シリーズのスタート。
有機加工食品58品目を加えた計120品目を新たに発売。
アジアの小売り初ASC認証取得商品「生アトランティックサーモン」発売。

👑日本初「MSC認証びんちょうまぐろ」スタート。

「トップバリュ グリーンアイフリーフロム」をメインブランド トップバリュへ移管。

👑日本初陸上養殖「オーガニックあおさのり」「オーガニックあかねそう®」スタート。

もっと安心、もっとやさしく



1993年
水産、畜産、デューリー、グロサリーでの基準を制定(初版グリーンアイ基準)。
「グリーンアイ」ブランドで「タスマニアビーフ」「純輝鶏」スタート。



1997年
「グリーンアイうなぎ」スタート。



2000年
👑国内初の「カーボンフットプリント」表示をパッケージで展開。

2002年
「トップバリュ グリーンアイ」を3つのシリーズに刷新。
リブランディングを実施。
「フリーフロム」を発売。



2007年
👑国内初の「カーボンフットプリント」表示をパッケージで展開。

2008年
「トップバリュ グリーンアイ」を3つのシリーズに刷新。
リブランディングを実施。
「フリーフロム」を発売。

2014年
「トップバリュ グリーンアイオーガニック」シリーズのスタート。
有機加工食品58品目を加えた計120品目を新たに発売。
アジアの小売り初ASC認証取得商品「生アトランティックサーモン」発売。

2016年
👑日本初「MSC認証びんちょうまぐろ」スタート。

2017年
「トップバリュ グリーンアイフリーフロム」をメインブランド トップバリュへ移管。

2019年
オーガニック生産者とイオンをつなぐプラットフォーム「イオンオーガニックアライアンス(AEON Organic Alliance)」始動。

2022年
誕生30周年。
環境配慮商品のトップランナーとなる“環境に突き抜けたブランド”へ加速すべく「トップバリュグリーンアイオーガニック」の取り扱いを拡大。



2023年
👑日本初「ASC認証わかめ」スタート。
「オーガニック牛乳」スタート。

「トップバリュ グリーンアイ」は、日本の食文化を次世代へと引き継ぐために様々な取り組みに挑戦しています。お客さまが豊かな自然環境で快適に暮らせる商品を提供し続けるブランドであるよう全力で努めています。